令和７年４月１日

# 令和７年度　東京都立足立新田高等学校学校経営計画

校長　髙松　久一

Ⅰ　目指す学校像

【スクール・ミッション】

生徒が夢に挑戦し努力し生涯を見通し、たくましく生きる力を培える学校、地域に根ざし、社会に貢献できる人材を育成する学校に実現に向けて、基礎的な学力、自主的に学ぶ力、コミュニケーション力、社会に生きる人間力等を養う教育活動を通じて、社会の中で、自分の力で考え目標に向かって努力する人材を育成する。

【本校の教育目標】

人間尊重の精神を基調とし、一人ひとりの個性の確立をめざし、それぞれの適性に応じて将来の進路を決定し、新しい時代と社会に貢献できる有為な人材を育成するために、次の目標を掲げる。

① 基礎学力を充実して自ら求めて学ぶ学習習慣を身に付け、知性の開発を目指す。

② 豊かな情操を育て、真・善・美へのあこがれと実践力を身に付け、感動する素直な心を大切にする。

③ 健やかな心身を鍛え、困難にうちかつ体力と意志の力を身に付け、気力の充実を図る。

【基本方針】

３つの「感」で人を育てる。

学校生活を通して感動を心に刻み、学びの中で感謝の心を育み、人と人とのつながりの中で感性を高めていく。

【スクール・ポリシー】

（1）グラデュエーション・ポリシー

・学習習慣の定着を図るとともに、自ら課題を見付け、主体的に課題を解決していく力を育成する。

・挨拶や礼儀を大切にし、人に愛される豊かな人間性と社会性を育成する。

・夢と志を持ち、自己実現に向けて困難にうちかつ力を育成する。

・望ましい職業観や進路意識を育成する。

（2）カリキュラム・ポリシー

・２年生から「スポーツ健康系」「保育生活系」「メディア文化系」の多様な選択科目を設定し、生徒の特性や能力を伸長させ、自己実現や進路実現を図る。

・国語・数学・英語の教科で習熟度別少人数制授業を行い、基礎学力定着と学力向上を図る。

・「特別進学クラス」を各学年１クラス配置し、より一層大学受験等に対応できる学力を身に付ける。

・ICT 機器等を利用し、学習の最適性を図るとともに、効果的な視聴資料等を活用して、理解を深める。

・漢検、英検、数検をはじめ、専門科目等の様々な資格取得を目指した学習を積極的に推進する。

（3）アドミッション・ポリシー

・生活規律（挨拶、時間、身だしなみ、掃除）を大切にし、自分の夢に挑戦し進路実現できる生徒

・人間尊重の精神に徹し、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させられる生徒

・文武両道の精神のもと、スポーツや文化を楽しみ、健康で活気あふれる学校生活を送る生徒

・部活動等に積極的に取り組み、入学後も継続して活動し、目標に向かって努力する生徒

Ⅱ　中期的目標と方策

（1）教育活動全般を通して、人権を尊重する教育活動を行い、人間尊重の精神及び心の教育を充実させる。

（2）普通教科科目の教育を通して、進路を実現するための基礎・基本となる学力向上を推進する。

（3）進路指導を通して、生徒が自らの進路を主体的に捉えて、計画的・系統的なキャリア教育を行い、進路実績の向上を図る。

（4）生活指導を通して、社会生活の基本的ルールを身に付け、自ら考え行動する自律的な人間を育成する。

（5）健康･安全指導を通して、心と体の健康と安全を保持し、自他の生命を尊重する態度を育む。

（6）創意工夫した広報･募集活動を通して、地域への情報発信を推進し、保護者や都民の建設的な声を学校改善に生かす。

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

1 教育活動の目標と方策

魅力ある学校として、都民の信頼と期待に応え、中学生・保護者等に選ばれる学校づくりを目指すために、「チーム足立新田」として組織的、計画的な学校運営を図り、以下のことを重点目標として取り組む。

（1）生徒の意欲を引き出す学びに重点をおき、分かる授業に取り組むとともに、キャリア教育を推進し、個々の生徒の進路実現を図る。

①学力向上に組織的に取り組み、基礎学力の定着と応用力の向上を図る。

②３つの学系科目群の特色を活かし、各種資格取得や技術の習得を目指すとともに、キャリア教育を組織的・計画的に行い、進路決定率の向上を図る。

③振り返りと自己評価を計画的に実施する探究活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

④特進クラスの目的や目標について協議を行い、すべての学年が同じ価値観で特進クラスを運営する。

（2）生活指導や健康指導を通して個々の生徒の良さや可能性を引き出し、深い自己理解に基づき、自ら考え、選択し、決定する過程を支え、生徒の健全育成を推進する。

①教科指導や生活指導、教育相談活動などを通して、いじめを早期に発見し、課題解決を図る。

②社会生活のルールやマナー、エチケットを身に付け、基本的な生活習慣の定着を図る。

③健全な生活習慣の確立を通して遅刻・欠席が減少するよう指導し、健康についての自己管理意識を高める。

④様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育を充実させる。

⑤スクールカウンセラーや都立版エリアネットワークの地区拠点校、その他の外部機関などと連携した教育相談体制を強化する。

（3）部活動加入者の増加及び各部の成績向上を目指し、より一層の部活動の活性化を図るとともに、スポーツとの多様な関わり方（する・見る・支える・知る）を推進する。

（4）図書館の利用を促進し、読書の楽しさを知る活動を推進する。

2 広報活動・学校評価・保護者や地域との連携

（1）保護者・地域との連携・協力による学校支援体制を充実させ、広報活動の充実を図る。

（2）授業評価・学校評価の実施について工夫・改善を図る。

3 学校における働き方改革推進プランによるライフ・ワーク・バランスの推進

（1）計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、ライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

（2）教員の働き方改革をデジタルの力を活かして推進し、きめ細かい指導や支援を充実する。